

ツルニチニチソウ (蔓日々草)

名前の意味^{いみ}：ニチニチソウによく似ているが、つる性なので、名付けられた。ニチニチソウの花は一日花で、毎日別の花が咲くので、その名が付けられた。

分類：双子葉類、キョウチクトウ科、ニチニチソウ属

好きな場所：やや暗い湿った空き地、道ばた

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ヨーロッパ、北アフリカ

特徴：切ると白い乳液^{にゅうえき}（白いしる）の出る長く伸びるツル、^{たいせい}対生する楕円形の葉、紫色の大きな花。

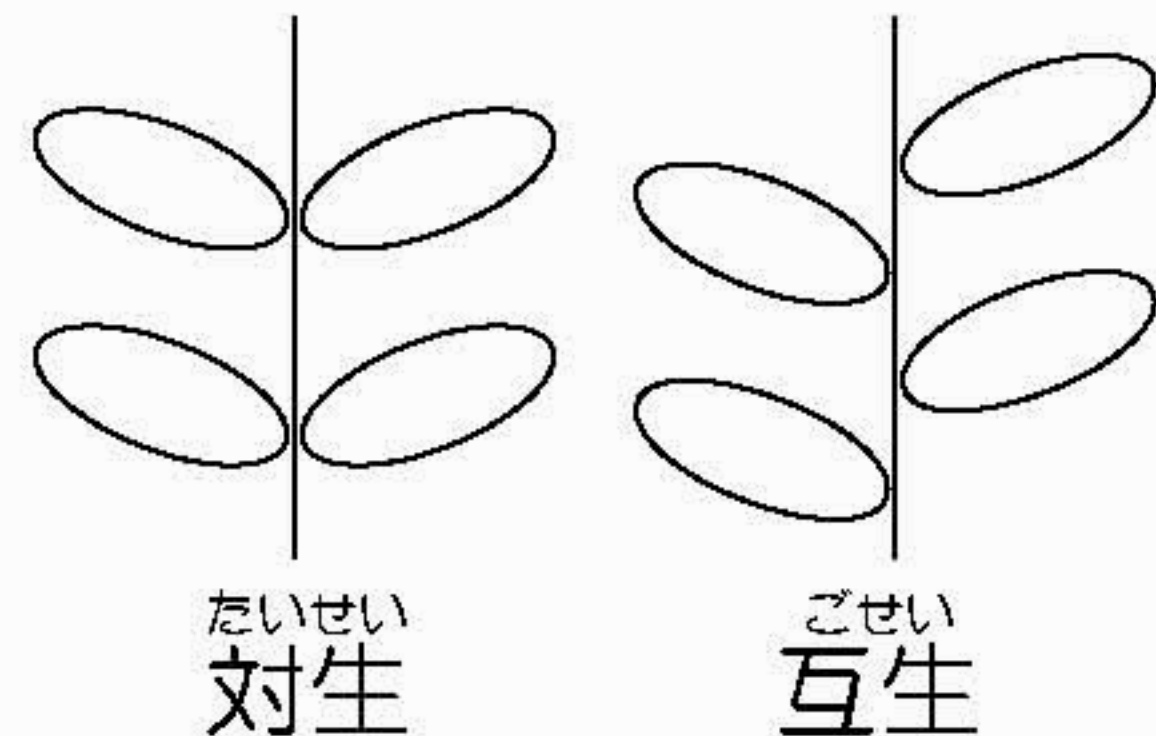
種子の運ばれかた：種子はできない

花弁の数^{ごうべん}：合弁、^{れつ}5裂

花の時期：5—10月

食べ方：食べられない（毒がある）

見分け方：スイカズラには、葉に毛があり、花は白くて、筒状。



見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)